

第7回勇気ある経営大賞 坂口電熱など10社

革新的な技術開発やビジネスの創出に果敢に取り組む企業を表彰する「勇気ある経営大賞」(主催・東京商工会議所、協力・フジサンケイビジネスアイ)は今年で7回を迎え、厳正なる審査の結果、受賞の10社が決定した。

大賞に輝いたのは産業用ヒーター、加熱装置メーカーの坂口電熱。同社が得意とする電熱技術を生かし、従来のレーザーでは被照射物の面にピンポイントにしか加熱できなかったものを、世界でオンリーワンとなる「レーザー平面加熱装置」を開発することで、均一かつ急速に加熱・冷却することに成功。多くの業界にインパクトを与えたことが高く評価された。

優秀賞の4社は、各社で創業

第7回勇気ある経営大賞 受賞企業

- 大賞 坂口電熱(蜂谷真弓氏、東京都千代田区)
- 優秀賞 井口機工製作所(井口薫氏、東京都練馬区)
相馬光学(浦信夫氏、東京都西多摩郡)
田代合金所(田邊豊博氏、東京都台東区)
ヒキフネ(石川輝夫氏、東京都葛飾区)
- 特別賞 オクタ(山本拓己氏、埼玉県さいたま市)
環境経営総合研究所(松下敬通氏、東京都渋谷区)
久米繊維工業(久米信行氏、東京都墨田区)
グラパックジャパン(湯本好英氏、東京都墨田区)
ズーム・ティー(河合とも子氏、東京都港区)

※カッコ内は代表者と本社所在地

以来培ってきた技術をさらに昇華し、新分野の開拓にたゆまぬ挑戦をしたことが認められた。井口機工製作所はベアリング技術、相馬光学は分光測定技術、田代合金所は合金鑄造技術、ヒキフネはめっき加工技術で、それぞれ新たな分野での参入を果

たしている。

今回は過去最多の234社の応募があり、西澤潤一・首都大学東京名誉学長を委員長とする選考委員会が審査にあたった。表彰式は11月11日、ロイヤルパークホテル(東京都中央区)で行われる。